

目次

口絵
凡例
目次
24
2

自然環境

第一章 地形・地質

第一節 松江の文化を支えた多様な地形

一 松江の地形の概要 6
二 水都松江の象徴・大橋川―開港と洪水対策 11
三 生活を支えた日本最大の汽水域―宍道湖と中海 14
四 古代から現代までの文化の舞台―松江の平野 18
第二節 地球の歴史と松江の地質 25
一 松江の地質から読み取る日本海形成の物語 26
二 人類の時代・第四紀―段丘の形成と大根島火山 36
三 水都松江の象徴―中海・宍道湖の形成 47

第二章 気候と気象

第一節 松江の気候と四季の変化

北陸・山陰型気候の松江／季節区分／春／梅雨／夏／秋／冬

市史講座

「市民と語る松江の自然」

『松江市史通史編第一巻「自然環境・原始古代」』が三月末に刊行された。この中で私たちは第一章から第三章の自然環境について担当した。すでに読まれた方もおられると思うが、ここで各章の内容と執筆するうえで配慮したこと等を簡単にまとめておく。

第一章の「地形・地質」では松江の大地の特徴と生い立ちについて述べた。とくに歴史や文化・産業の自然基盤となった平野と宍道湖・中海については、ほかの事項よりも多くのページを割いて、地球環境の中長期的変動と関連づけながら解説した。

第二章では、私たちになじみ深い季節現象を通して、松江の「気象・気候」の特徴が理解できるようにまとめた。また、具体的な数値データに加え、天気図や模式図も示すことにより読者の理解を助けるとともに、気象現象の背景や原因も分かり易く解説した。

第三章の「生物」では、松江の自然を特徴付ける三つの地域、すなわち①私たちの生活をおくる里山、②「水の都松江」とそこに見られる生き物たち、③魅力いっぱい島根半島と日本海の自然、に分けて、それぞれの地域で特徴のある

第三章 生物

第一節 私たちの生活を育む里山

一 わが国における自然環境の変遷 94
二 里山の植生 104
三 里山の動物 112
四 里山の危機と絶滅のおそれのある希少な植物 119
五 外来生物による生物多様性の危機 122
六 里山のめぐみと食生活 124
第二節 「水の都松江」とそこに見られる生き物たち 126
一 特異な湖「宍道湖」 126
二 野鳥の宝庫「宍道湖」 126
三 宍道湖と中海の生物の連鎖 126
四 水辺の生き物たち 126
五 松江の自然と食生活 126
第三節 魅力いっぱい島根半島と日本海の自然 126
一 島根半島の植生 126
二 島根半島の動物たち 126
三 松江市の産業振興とその名産 126
四 海流と生き物たち 126
五 磯の生き物たち 126

執筆一覧

第一章 高安克己・澤田順弘
第二章 三瓶良和・入月俊明
第三章 田坂郁夫
第一節 第一項 田坂郁夫
第二節 第二項 田坂郁夫
第三節 第三項 田坂郁夫
第四節 第四項 田坂郁夫
第五節 第五項 田坂郁夫
第六節 第六項 田坂郁夫
第七節 第七項 田坂郁夫
第八節 第八項 田坂郁夫
第九節 第九項 田坂郁夫
第十節 第十項 田坂郁夫
第十一節 第十一項 田坂郁夫
第十二節 第十二項 田坂郁夫
第十三節 第十三項 田坂郁夫
第十四節 第十四項 田坂郁夫
第十五節 第十五項 田坂郁夫
第十六節 第十六項 田坂郁夫
第十七節 第十七項 田坂郁夫
第十八節 第十八項 田坂郁夫
第十九節 第十九項 田坂郁夫
第二十節 第二十項 田坂郁夫
第二十一節 第二十一項 田坂郁夫
第二十二節 第二十二項 田坂郁夫
第二十三節 第二十三項 田坂郁夫
第二十四節 第二十四項 田坂郁夫
第二十五節 第二十五項 田坂郁夫
第二十六節 第二十六項 田坂郁夫
第二十七節 第二十七項 田坂郁夫
第二十八節 第二十八項 田坂郁夫
第二十九節 第二十九項 田坂郁夫
第三十節 第三十項 田坂郁夫
第三十一節 第三十一項 田坂郁夫
第三十二節 第三十二項 田坂郁夫
第三十三節 第三十三項 田坂郁夫
第三十四節 第三十四項 田坂郁夫
第三十五節 第三十五項 田坂郁夫
第三十六節 第三十六項 田坂郁夫
第三十七節 第三十七項 田坂郁夫
第三十八節 第三十八項 田坂郁夫
第三十九節 第三十九項 田坂郁夫
第四十節 第四十項 田坂郁夫
第四十一節 第四十一項 田坂郁夫
第四十二節 第四十二項 田坂郁夫
第四十三節 第四十三項 田坂郁夫
第四十四節 第四十四項 田坂郁夫
第四十五節 第四十五項 田坂郁夫
第四十六節 第四十六項 田坂郁夫
第四十七節 第四十七項 田坂郁夫
第四十八節 第四十八項 田坂郁夫
第四十九節 第四十九項 田坂郁夫
第五十節 第五十項 田坂郁夫
第五十一節 第五十一項 田坂郁夫
第五十二節 第五十二項 田坂郁夫
第五十三節 第五十三項 田坂郁夫
第五十四節 第五十四項 田坂郁夫
第五十五節 第五十五項 田坂郁夫
第五十六節 第五十六項 田坂郁夫
第五十七節 第五十七項 田坂郁夫
第五十八節 第五十八項 田坂郁夫
第五十九節 第五十九項 田坂郁夫
第六十節 第六十項 田坂郁夫
第六十一節 第六十一項 田坂郁夫
第六十二節 第六十二項 田坂郁夫
第六十三節 第六十三項 田坂郁夫
第六十四節 第六十四項 田坂郁夫
第六十五節 第六十五項 田坂郁夫
第六十六節 第六十六項 田坂郁夫
第六十七節 第六十七項 田坂郁夫
第六十八節 第六十八項 田坂郁夫
第六十九節 第六十九項 田坂郁夫
第七十節 第七十項 田坂郁夫
第七十一節 第七十一項 田坂郁夫
第七十二節 第七十二項 田坂郁夫
第七十三節 第七十三項 田坂郁夫
第七十四節 第七十四項 田坂郁夫
第七十五節 第七十五項 田坂郁夫
第七十六節 第七十六項 田坂郁夫
第七十七節 第七十七項 田坂郁夫
第七十八節 第七十八項 田坂郁夫
第七十九節 第七十九項 田坂郁夫
第八十節 第八十項 田坂郁夫
第八十一節 第八十一項 田坂郁夫
第八十二節 第八十二項 田坂郁夫
第八十三節 第八十三項 田坂郁夫
第八十四節 第八十四項 田坂郁夫
第八十五節 第八十五項 田坂郁夫
第八十六節 第八十六項 田坂郁夫
第八十七節 第八十七項 田坂郁夫
第八十八節 第八十八項 田坂郁夫
第八十九節 第八十九項 田坂郁夫
第九十節 第九十項 田坂郁夫
第九十一節 第九十一項 田坂郁夫
第九十二節 第九十二項 田坂郁夫
第九十三節 第九十三項 田坂郁夫
第九十四節 第九十四項 田坂郁夫
第九十五節 第九十五項 田坂郁夫
第九十六節 第九十六項 田坂郁夫
第九十七節 第九十七項 田坂郁夫
第九十八節 第九十八項 田坂郁夫
第九十九節 第九十九項 田坂郁夫
第一百節 第一百項 田坂郁夫

松江市史専門部会 自然環境部会

後半は
「文化・歴史と松江の自然」
をテーマにしたパネルディスカッション。
例
えば、風土記の記述と当時の自然、松江の自然と城下町の成立・暮らしとの関わり、地球温暖化と近未来の松江、などが話題として考えられ、これらを共通テーマとして地形・地質、気象・気候、動物・植物の観点からディスカッションする。会場の皆さんからの発言も期待している。

最後に「自然を活かす街づくり」をテーマに皆さんとともに意見交換し、産業振興や防災、観光なども含めて、これからの市民生活と自然との関わりを考えていきたい。また、それを考える上でどのようなデータが不足しているか、と言うことについてもご意見を伺いたい。

『史料編「自然環境」』は平成三十一年度に刊行が予定されており、部会ではすでにその準備に入っている。今回のシンポジウムで市民の皆さんから伺ったご意見を、ぜひ『史料編』に活かしたいと考えている。